

一般社団法人 日本公認心理師養成機関連盟 第8回研修会 「コロナ禍における実習・演習の工夫」開催

2021年6月20日(日)12時30分より、第8回研修会「**コロナ禍における実習・演習の工夫**」をオンラインにて開催しました。総合司会は川畑直人先生(本連盟理事、京都文教大学)で、160名強が参加し、コロナ禍での各大学の工夫について熱心な議論が交わされました。

開会の挨拶 開会にあたって鶴光代先生(本連盟会長、東京福祉大学)から、オンライン開催の経緯について説明があり、現在コロナ禍によって各大学・大学院で教育の工夫が行われていること、今後もアンケート結果や研修会を通して新しい知見を見出していきたい旨の挨拶がありました。

講演

「養成機関に求められること—公認心理師の活動状況調査結果も含めて」と題して、吉橋実里先生(厚生労働省精神・障害保健課公認心理師制度推進室:公認心理師専門官)のご講演と、小林義之先生(同室係長)から確認申請等の事務手続きに関する説明がありました。オーガナイザーは元永拓郎先生(本連盟理事、帝京大学)でした。

- 1. 公認心理師制度の現状** 公認心理師試験について、現在の登録者数(41,556名)、プログラム施設(9施設)、公認心理師制度の見直し(医師の指示、ブループリント等)の予定について説明がありました。
- 2. 実習について** 公認心理師養成カリキュラム及び実習についての考え方、「担当ケース」は「心理に関する支援を擁する者を対象とした心理的支援」であり、ケースに対して主体的、積極的あるいは直接的に関わる姿勢が求められること等、詳しく説明がありました。その後、厚生労働省令和元年度障害者総合福祉推進事業「公認心理師の養成や資質向上に向けた実習に関する調査」(事業実施法人:国立精神・神経医療研究センター)の調査結果を基に、医療機関における実習の実態についてご説明いただきました。なお、実習に変更が生じた場合は変更届の提出が必要であること、新型コロナウイルス感染症流行に伴う一時的・特例的な変更である場合はその旨と、必要な学修内容を担保するために工夫した内容を記載すること、巡回指導については養成機関と実習施設の十分な連携が確保できるのであればオンラインツールを使用しても問題ないこと等について、細やかな解説がありました。
- 3. 国の精神保健医療体制** 精神科医療の現状、こころの健康づくり対策事業の開設の他、厚生労働省令和2年度障害者総合福祉推進事業「公認心理師の活動状況等に関する調査」(事業実施法人:日本公認心理師協会)から、公認心理師の活動状況等に関する調査結果の紹介をいただきました。
- 4. 公認心理師に期待される役割** 平成26年度厚生労働科学特別研究事業「心理職の役割の明確化と育成に関する研究」(主任研究者:村瀬嘉代子)、上述の厚生労働省令和元年度障害者総合福祉推進事業及び同令和2年度障害者総合福祉推進事業のデータを基に、公認心理師が行っている支援内容や期待される役割等について説明がありました。
- 5. 養成機関に求めること** 公認心理師実習の標準化とガイ

ドライン制定、実習の事前教育の強化、養成教育と資格取得後の実践の連続性等の重要性について指摘されました。

意見交換 元永先生が参加者等を代理する形で、吉橋先生・小林先生とのディスカッションが行われました。カリキュラム、実習での困りごと、事務手続き上の疑問等も取り上げられて、諸問題への解決のご助言をいただいた時間となりました。



セッション1:「心理演習」についての対応

オーガナイザーは矢島潤平先生(本連盟理事、別府大学)、話題提供が2校から行われました。

- 1. 倉西宏先生(京都文教大学)** 倉西先生からは、心理演習の15コマの内容とスケジュール(教員配置を含む)の提示と、オンラインによる工夫についてご説明いただきました。ZoomやGoogle Meetの使用にあたっては講習会が開かれたとのことでした。オンラインによる演習の利点として、場面転換等の進行がスムーズ、録画できるので復習に便利、対面での臨床活動での課題が見つかりやすい点等が挙げられ、欠点としては、全身が映らない、言語的なやりとりで限定される、直接フィードバックがしづらい点等があげられました。いずれも実践例を紹介しながら、分かりやすく説明されました。
- 2. 浦田英範先生(西南学院大学)** 浦田先生からは、まず、心理演習の現況が示されました。新型コロナウイルス感染症の流行当初は、事前学習は資料等を郵送した他、大学の許可を得た上で補講日や夏休みに対面指導が行ったことが報告されました。現在は、Moodleによるe-learningとZoomを併用して実施しているとのことでした。対面での授業の許可が得られないことでの補完の工夫等についてもご提示いただきました。
- 3. 小グループ・ディスカッション** 各校での「心理演習」の工夫や課題等について、情報交換とディスカッションが熱心に交わされました。最後の質疑応答では、両講師から、詳しい講義内容についてもご教示いただきました。

セッション2:「心理実習」「心理実践実習」についての対応

オーガナイザー:宮崎圭子先生(本連盟実習演習検討委員、跡見学園女子大学)、話題提供が2校から行われました。

- 1. 小俣和義先生(青山学院大学):「心理実習」** 小俣先生からは、まず、「心理実習」の履修条件、実習の具体的な内容、達成目標等の概要について説明がありました。その後、オンライン・ツールを用いた事前指導や事後指導の具体的な講義展開についてお話いただきました。対面授業の自粛中、記録等の提出や教員のフィードバックをオンラインで実施するためのシステムを独自に構築されている点等、興味深い示唆が得られました。外部での見学実習についても、オンラインが取り

入れられ、実習指導者が施設、受講生が自宅や大学教室から参加する方式は、とても参考になりました。実習費用のこと等事務的なことについても詳しく紹介していただきました。

2. 山根隆宏先生(神戸大学):「心理実践実習」 山根先生からは、まず、大学院の実習指導や研究指導体制の特徴、臨床心理士養成カリキュラム、複数教員から実践や研究を学べる体制等についてのご説明がありました。「心理実践実習」については、コロナ禍の影響と、学内・学外実習の進め方について、時系列に沿って具体的に紹介していただきました。また、遠隔指導に伴う工夫として、Zoom、Webex、Google Workspace for Education、Moodle、Slack等の活用が示されました。最後に、コロナ禍の影響と今後の課題についてお話しいただきました。

3. 小グループ・ディスカッション 「心理実習」と「心理実践実習」について、コロナ禍での工夫や課題等が熱心に議論されました。最後の質疑応答では、両校の取り組みについて、さらに詳しい内容をご紹介いただきました。

閉会の挨拶 野島一彦先生(本連盟常務理事、跡見学園女子大学)より閉会の挨拶と、次回の研修会は2021年10月10日にオンラインにて開催されることがアナウンスされました。

当日アンケート

当日アンケートでは、「心理演習」で紹介されたロールプレイのテキストを導入したい、実習施設の報告が参考になった、コロナ禍での工夫に共感できた、魅力的な実習プログラムが参考になった、施設との連携が大切であると再認識した、グループワークの時間がもっと欲しい等のご意見をいただきました。

各セッション後半に行われた小グループでの意見交換の内容は大変貴重な情報であり、第6回、第7回研修会時と同様、情報を匿名化して取りまとめた後に、本連盟のホームページにて会員間で共有する予定です。ホームページ掲載時には、メールニュース等でもご連絡致します。

第3回総会(2021年度通常総会)の報告

日時 2021年6月20日(日)10:00~11:30

審議事項

議案1 2020年度の事業報告及び会計決算が原案通り承認されました。

議案2 第2期役員が、理事会推薦通り承認されました。新型コロナウイルス感染症の感染防止等のために、オンライン開催と事前の議決権行使及び会長への委任にご協力いただきましたことにより御礼申し上げます。

〈こころの科学〉増刊「公認心理師になるための大学案内—こころの専門家になろう! (仮題)」刊行に向けて

当連盟編集にて、高校生向けに公認心理師養成機関(大学課程)の紹介を行う企画です。掲載される教育機関は、当連盟の正会員校です。会員校の皆さまには、原稿執筆へのご協力をよろしくお願い致します。

第9回研修会のご案内

テーマ	「公認心理師養成における大学課程の科目配置・教員配置の現状と課題」
日時	2021年10月10日(日)10:00~17:00
開催方法	オンライン(Zoom)
プログラム概要	
講演	「公認心理師制度の現状と課題(仮)」
講師	吉橋実里(厚生労働省精神・障害保健課公認心理師制度推進室:公認心理師専門官)
セッション1	「大学課程における国民の心理的健康の増進につながるカリキュラムマネジメントと課題」
話題提供者	杉山 雅宏(埼玉学園大学) / 平山 篤史(沖縄国際大学)
セッション2	「公認心理師志望者を絞るための科目配置、公認心理師志望者以外の学生の教育」
話題提供者	清水めぐみ(東北福祉大学) 眞榮城和美(白百合女子大学)
セッション3	「大学課程から大学院課程への連携—カリキュラムを含む諸問題」
話題提供者	中谷 敬明(岩手県立大学) / 永田 雅子(名古屋大学)
後援	一般社団法人日本公認心理師協会

会員情報に変更があった場合

登録されている会員情報に変更があった場合は、本会ホームページの「会員情報変更届フォーム」からお手続きください。

厚生労働省令和3年度障害者総合福祉推進事業 「公認心理師の養成に向けた 各分野の実習に関する調査」

当連盟は、厚生労働省から令和3年度障害者総合福祉推進事業を受託致しました。大学及び大学院課程における公認心理師養成について実習を中心として把握し、今後の公認心理師養成に係る必須の基礎資料を得る目的でWeb調査及びヒアリング調査を実施します。会員校の皆さまには、調査へのご協力を宜しく申し上げます。詳細は、改めてご案内します。

Web調査

期間 2021年10月下旬~12月下旬

対象 **全数調査** 2020年度末までに公認心理師養成カリキュラムの開講確認を行った全大学・大学院及び実習施設

ヒアリング調査

期間 2021年10月下旬~2022年1月下旬

対象 2020年度末までに公認心理師養成カリキュラムの開講確認を行った全大学・大学院、実習履修済学生等、各校の実習施設より抽出

一般社団法人 日本公認心理師養成機関連盟

事務局 〒169-0075

東京都新宿区高田馬場3-2-14-414

お問合せは、連盟ホームページ「お問合せ」フォームからお願いします

URL: <https://kouyouren.jp>